



●市内の出来事や、頑張っている皆さんの姿を紹介するコーナーです。



きららん・ミコぴょんと遊ぼう!

●3月15日 吉田特別支援学校

燕市の「きららん」と弥彦村の「ミコぴょん」が一緒に吉田特別支援学校を訪問。ボールを投げて得点を競うポッチャや写真撮影会を楽しみました。交流を通してたくさんの方の友だちができ、大喜びの「きららん」でした。



ふるさとに集う

●3月17日 燕三条地場産業振興センター

二十歳のつどいに総勢584人が参加。晴れ着で集まった参加者が友人との久々の再会を喜び、写真を撮ったり、会話を楽しんだりして会場は大賑わい。子の成長を喜ぶ保護者も一緒に二十歳の門出を祝福しました。



まちあそび部が北海道初上陸!

●3月25日 北海道札幌市

「燕市役所まちあそび部」が「トキエア」とコラボし、札幌市の大学生とワークショップを行いました。今回は燕市のPRとトキエアの活用促進のための「まちあそび」のヒントを見つけました。



ごみの売却益で児童図書と玩具を贈呈

●3月26日 西燕保育園

空缶と古着の売却益で、絵本や玩具を購入する「カンカンBOOK・TOY」「福服BOOK・TOY」事業。その贈呈式が西燕保育園で行われました。贈呈式では、さっそく子どもたちに新しい図書の読み聞かせを行いました。



150年の歴史に幕

●3月22日・23日 松長小学校

明治7年に創立し、令和6年3月末をもって150年の歴史に幕を閉じた松長小学校。最後の「卒業式」が3月22日に、「松長小学校150周年・閉校記念式典」が3月23日にそれぞれ行われました。最後の卒業式では、9人の児童が卒業し、お世話になった先生や家族、地域の人たちに感謝の思いを伝えました。記念式典では、在校児童・保護者をはじめ、地域住民や多くの卒業生が参加し、150年の歴史などを振り返りました。



◀認知症サポーター養成講座の詳細はこちら

▼認知症サポーター養成講座の様子



「あなたが持つ認知症のイメージは？」そう問われ、良いイメージを浮かべる人は少ないのではないのでしょうか？しかし最近では、認知症への理解が進み、イメージも変わってきています。認知症の人が、役割を持って地域の人たちと一緒に活動し「前向きに自分らしく暮らしています」との声が全国各地から上がっています。認知症になったら終わりではありません。誰もが発症する可能性があります。自分事として捉える必要があります。認知症になっても尊厳を保ち、希望を持って暮らせるまちづくりが求められます。

燕市では認知症サポーター養成講座の中で、認知症の人からのメッセージ動画や、認知症の人と地域の人たちが共に活動する様子なども紹介しています。

新しい常識に基づく、新しい認知症観を学んでみませんか？

新しい認知症観

コラム 認知症を知る。

LINE 燕市公式アカウント

メニューから必要な情報を探せる!



生活に役立つ情報をお届けします!

子育て・イベント情報 etc.



友だち登録はこちら

① 災害に備える。LINE版「マイ・タイムライン」

風水害時の避難計画書である「マイ・タイムライン」をLINEアカウントで作成することができます。いつでも確認や見直しが可能です。日頃からの災害への備えをしましょう。

② ごみ収集日を通知する「ごみの日アラート」

ごみ収集日前日の夜8時と当日の朝6時30分に通知します。これで、出し忘れの心配なし!「ごみ・リサイクル」をタップし、お住いの地区などを設定してください。

※LINEのサービス自体は無料で提供されています。ただし、通信料やインターネット接続費用は利用者の負担となります。
 ※LINEの利用方法について不明点がある場合は、LINEホームページをご覧ください。

〒0256-77-8363 燕市 広報秘書課 広報広聴係

☎0256-77-8363